

国指定史跡「出島和蘭商館跡」整備の経過と今後の予定

昭和 26 (1951) 年 復元整備事業着手 (史跡内民有地の公有化に着手)



庭園 昭和 30 年代に整備
時代：18 世紀頃



旧石倉 幕末開国後の倉庫 (最初の復元建物)
時代：19 世紀後半



三三出島 昭和 51 年設置
時代：19 世紀初頭

平成 8 (1996) 年 3 月 史跡「出島和蘭商館跡」復元整備計画の策定 (19 世紀初頭の出島を復元する方針が決まる)

平成 12 (2000) 年 3 月 短中期計画第 1 ステップ第 I 期事業完成 (平成 8 年度～11 年度) ※平成 12 年度・・・日蘭交流 400 周年事業

- ・建造物 5 棟の復元、及び南側及び西側護岸石垣の一部復元
- ・ヘトル部屋、一番船頭部屋、一番蔵、二番蔵、料理部屋
- ・入場料 (一般 300 円、小中学生 150 円)

<年間来場者 14 万人程度で推移>



一番船頭部屋ほか

平成 13 (2001) 年度 史跡内民有地の完全公有化 (事業着手から 50 年)

平成 18 (2006) 年 3 月 短中期計画第 1 ステップ第 II 期事業完成 (平成 13 年度～17 年度)

- ・建造物 5 棟の復元、及び南側護岸石垣の復元及び練塀の整備
- ・カピタン部屋、乙名部屋、三番蔵、拝礼筆者蘭人部屋、水門
- ・入場料 (一般 500 円、高校生 200 円、小中学生 100 円)

※入場料は平成 26 年 4 月から (一般 510 円、高校生 200 円、小中学生 100 円)

※4 月 リニューアルオープン・・・「長崎さるく博'06」開催

<年間来場者 42 万人程度で推移>



カピタン部屋

平成 28 (2016) 年 秋 完成 (平成 22 年度～平成 28 年度)

第 2 ステップ第 III 期事業

- ・乙名詰所、組頭部屋、銅蔵、筆者部屋、十四番蔵、十六番蔵
- ・外国人のマーケットを見込み、グローバル視点で展示を再編 (世界、まち、人、もの・・・“つながる”がテーマ)

※出島築造 380 年、シーボルト没後 150 年



出島中央部の復元イメージ

出島表門橋架橋プロジェクト

- ・出島表門橋架橋と公園整備・・・長崎市
- ・中島川の護岸整備・・・長崎県

<平成 28 年度以降 年間来場者 60～70 万人程度で推移を見込む>

平成 28 (2016) 年度以降

- ・出島内 第 IV 期事業 (町人部屋、15 番蔵、番所) ほか



出島表門橋イメージ